

別紙 1

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 3086 号	氏 名	千 葉 慎 一
論文審査担当者	主査 佐 藤 満		
	副査 伊 藤 純 治		
	副査 加賀谷 善 教		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>当該論文は、肩関節の障害によって上肢の挙上運動に困難を来した症例の治療に関して、肩関節そのもののほかに肩甲骨の運動に関与する脊柱の運動性との関連をあきらかにすることで、運動機能向上の治療効果をより高める目的で行われた研究である。特にこれまでの知見では明らかではなかった上肢挙上運動の際の胸椎、腰椎、骨盤の運動性を定量的に示した点に論文の新奇性がある。</p> <p>先行的研究の調査が十分になされた上で、考え得る最良の測定方法を採用して、研究の目的にかなった結果および考察がなされており、論旨も一貫している。健常者を対象とした基礎的知見を得る研究デザインであるが、臨床現場で対象疾患の患者では測定が困難な高精度の動作分析装置を活用して、微細な脊柱運動の変化までを計測している。これまで不明であった胸椎、腰椎、骨盤に生じる運動連鎖を総合的に分析し、上肢挙上の運動範囲を通した運動連鎖の特徴を明らかにしている。</p> <p>本論文は、肩関節運動機能改善のリハビリテーションの現場で日頃から経験的に行われている肩甲骨運動や脊柱運動を含めた治療方法に、科学的な根拠を与えることを研究の動機としている。そのため本論文の知見は運動連鎖の基礎的な分析でありながら、臨床での有用性が高いことも特筆すべき点である。</p> <p>以上より、本論文は昭和大学大学院保健医療学研究科博士後期課程の学位を与えるに相応しいものと認められた。</p> <p>論文題名： 上肢挙上運動への胸椎, 腰椎および骨盤運動の関与</p> <p>掲載雑誌名： 昭和大学学士会誌（印刷中：掲載証明提出済）</p>			

(主査が記載、500 字以内)